

# S-GAPITEDIE

令和元年6月27日発行

# 第1号

# S-GAP応援通信を通して、皆さんからのGAPに関する疑問にお答えしていきます!

# Q 農薬散布時には、どんなマスクを着用すればいいですか?

農薬散布時に使用するマスクは、労働安全衛生法により規格が定められており、散布する薬剤に合ったものを着用することが求められています。

### 農薬のラベルを確認





このマークは、農薬散布時、農薬用マスクを着用することを表します。

○養蜂地区では周辺への飛散に 注意し、ミツバチの危害防止に努める ○使用時は農薬用マスク、手袋、長ズボン 長袖作業衣などを着用する の数まを吸い込んだり、浴びたりしないよう

# マスクの種類

①農薬用マスク (粉剤・液剤用)の例

「国家検定合格品」 を選びましょう。

> 国(年)検 型式検定番号 (品名)(種類)

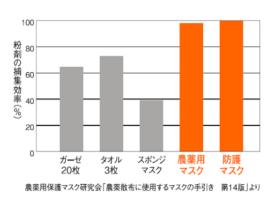


#### ②土壌くん蒸剤用 防護マスクの例



クロルピクリンなどガス 化する農薬には、有機ガス吸収缶のついた防護マスク(土壌くん蒸用)を 使用します。

#### マスクをつけるとこんなに有効!



上の表からも、マスクをつけることで、ほぼ100%の農薬を除去することができます! 農薬散布は重労働で呼吸量も増えます。正しいマスクをつけて安全対策を取りましょう。

# Q 栽培に使用する井戸水の水質検査について教えてください。

栽培等に使用する水は、水源を確認し汚染リスクを把握した上で、汚染回避の対策の一つとして水質検査を実施します。

特に、生食する農産物(みずなやレタス等)に直接かかる水(かん水含む)については、定期的な水質検査を行い、安全性を確認しましょう。

井戸水の検査項目としては、一般細菌、大腸菌、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素などをはじめとする11項目の検査が一般的ですが、食品安全の観点から、特に一般細菌数や大腸菌が重要になります。

#### 重要な検査項目の内容について

項目	内容
一般細菌数	基準値は100以下。一般細菌が多い水は、汚水等で汚染されている可能性があります。
	大腸菌のすべてに病原性があるわけではありませんが、検出された場合はふん尿 や下水等に汚染されている可能性があります。

基準を超えたとしても、ただちに使用ができなくなるわけではありません。 季節により変動することもありますので、継続的に検査を実施するなどリスクの低減に努めましょう。

## 水質検査を実施している機関

場所	料金※
最寄りの保健所	9,620円
(株)ビー・エム・エル(川越市)	8,000円
埼玉県食品衛生検査センター (さいたま市)	4,210円

生で食べる野菜を洗う水 は心配だなぁ。検査してみ よう!







※料金や内容は変わることがありますので、事前にお問い合わせください。 この他にも実施機関がありますので、ご相談ください。

# GAPの改善に活用できる補助金があります!

JAグループさいたまが実施する「県域応援メニュー」「S-GAP等認証取得支援助成」

S-GAPの改善に係る取組費用の一部を助成するもの。 例)農薬保管庫の整備、廃棄物の処理費用等

詳しくは、JAへご相談ください。

